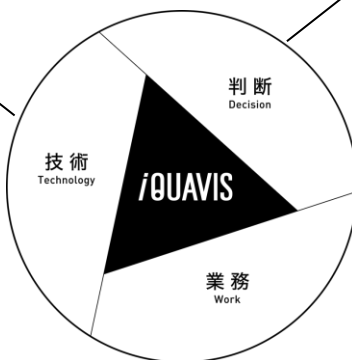


システムズエンジニアリング支援ツール iQUAVIS

iQUAVISは国内主要製造企業の製品開発業を支援する長年の活動で培った知見を反映し、電通総研が独自に開発したソフトウェアシステムで、製品システムモデリング、品質・リスク分析、プロジェクト管理のための、統合化されたシステムズエンジニアリングの支援ツールです。

✓ システムモデリング ＜技術の見える化＞

- 要求、機能、構成要素の相互関連性を明確にする。
- 設計検討の経緯、設計変更の影響の連鎖をトレースする。
- 過去事例や有識者知見を共有し、知的資産を継承する。



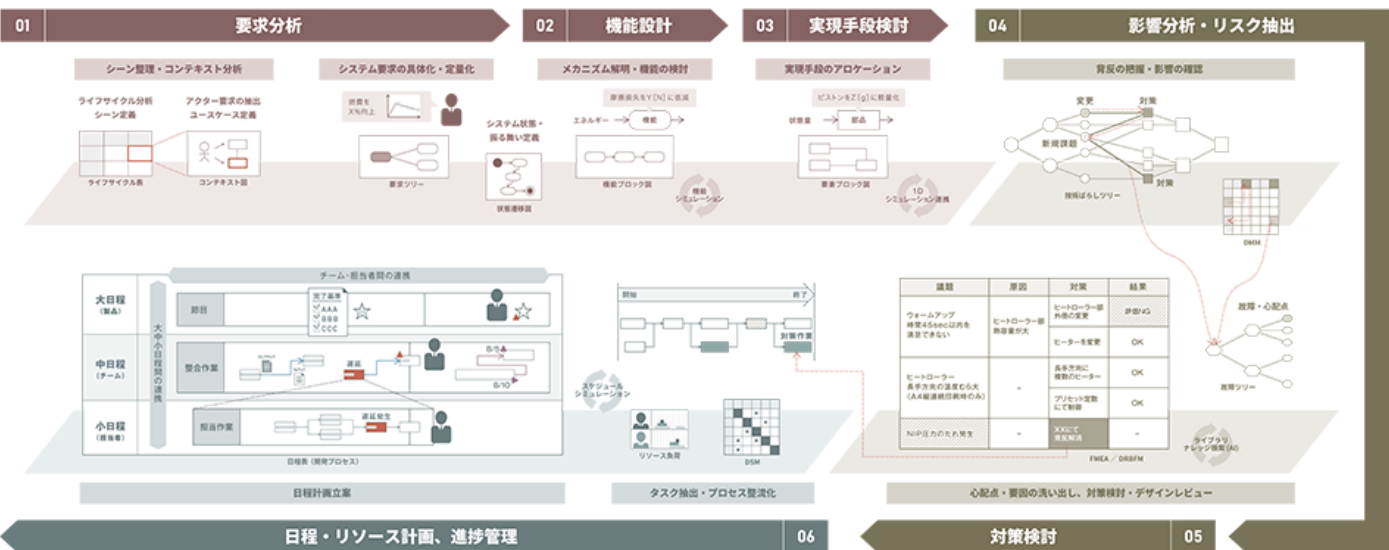
✓ 品質・リスク分析 ＜判断の見える化＞

- 技術課題をスケモレなく把握しながら、開発のリスクと品質を管理し、日程とリソースを考慮した確かな意思決定を行う。

✓ プロジェクト管理 ＜業務の見える化＞

- 作業負荷、リソース、納期が整合する計画を立案する。
- 成果物管理により、開発の進捗を正確に把握する。

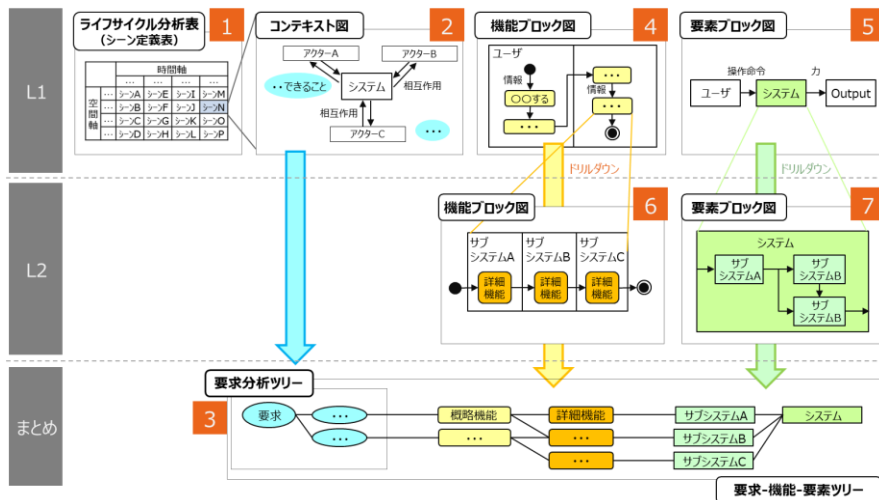
システムモデリング ＜技術の見える化＞



プロジェクト管理 ＜業務の見える化＞

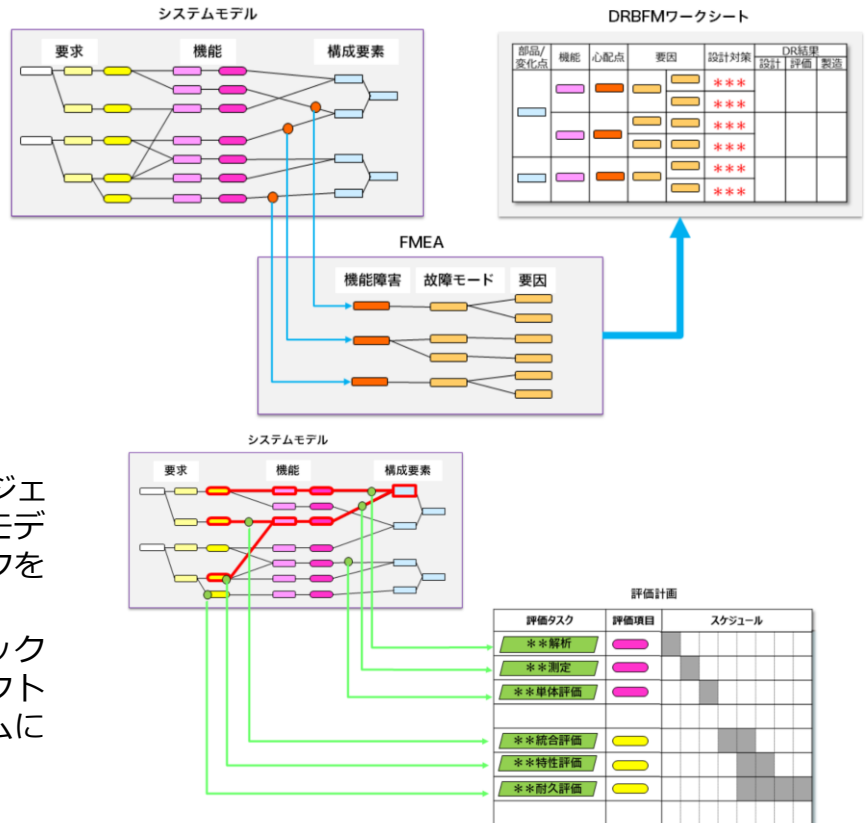
品質・リスク分析 ＜判断の見える化＞

技術の見える化により複雑なシステムモデリングを、判断の見える化によりFMEAやDRBFM等の品質・リスク分析を、業務の見える化によりプロジェクト管理を支援します。これら3つが連携し、システムズエンジニアリングを支援できることがiQUAVISの最大の特長です。

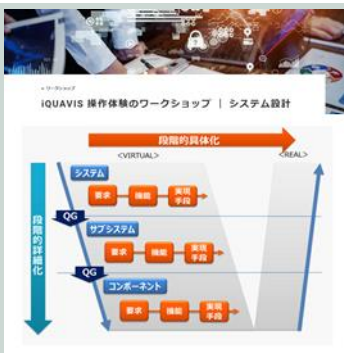


iQUAVISはQFDなどの各種方法論も活用し、製品の要求分析、機能設計、構成要素への展開を柔軟に確実に行うことを可能にします。ツリー図、ブロック図、二元表を用いてシステムモデルを表現し、様々な観点での検討を容易にします。

iQUAVISはシステムモデルと品質・リスク分析を統合します。システムモデルからFMEAやDRBFMワークシートを自動的に生成します。変更の影響を検証し、品質不具合の未然防止を行うことを可能にします。



iQUAVISはシステムモデルとプロジェクト管理を統合します。システムモデルから検討が必要なすべてのタスクを定義できます。変更に関連するタスクを自動でピックアップすることができ、プロジェクト進捗を管理粒度別に、リアルタイムに把握することを可能にします。



無料でベストプラクティスを体験
[詳細はこちら](#)



無料でMBSEの浸透度・適用度を診断
[詳細はこちら](#)

本資料に関するお問合せ・関連情報



実践できるシンプルなMBSE・システムズエンジニアリング

株式会社電通総研 MBSE/MBDソリューション担当
(g-mbse-mfg@group.dentsusoken.com)

